

2階 (暮らしのイメージ)

図は、エアコンのいない家を構成する基本的な要素を延床面積40坪という条件のなかで収めた間取りの一例です。敷地の広さや周辺環境などにより、実際の間取りはこれとは違うかたちになります。あくまで一例としてご覧ください。

子供部屋

必要最小限の広さ。要望次第で広さは伸縮可能（もちろん広くすれば、ほかの部屋が狭くなります）

ブックストリート ホビーストリート

本棚がたくさん必要ならここを使用。北に面しているので本が日焼けする心配がない。本棚の必要がなければ、フィギュアや小物の飾り棚として使用。その場合は、観賞用の照明を仕込んで美術館並みのアートな空間を目指したい

洗面・脱衣室

じつはモノであふれがちな洗面・脱衣室こそ、収納スペースを広めに確保しておきたい。敷地条件によっては図のような余裕のある空間は厳しくなるが、それでもたくさんのモノが収納できる工夫を施していきたい

小物用収納棚

化粧品、ボトル系のものなど、洗面廻りで使用する小物をまとめて収める

ダブル水栓洗面台

敷地の広さなどから無理な場合も多いが、洗面台には水栓（蛇口）を2つ設置しておきたい。忙しい朝も取り合いになることがなくなり、快適に身支度を整えられる

浴室

北側の寒い場所に設けられることの多い浴室。エアコンのいない家では極力南側に配置するようにしている。日当たりも風通しも良いので、カビが繁殖しにくい環境といえる。タカラスタンダード社製のユニットバスが標準仕様

コリドー (小さな回廊/ほかの床より240mm上がる)

主に洗濯物干し場、ふとん干し場として想定。南側で風通しがよいのはもちろん、室内となるため、せっかく干した洗濯物に花粉やホコリが付着するのを防げる。午後から雨が降りそうな日でも、心置きなく洗濯物を干して出かけられる。

南面のバルコニーは、洗濯物に占領されるとそれ以外の目的では使いづらくなることが多いが、この間取りは1階と2階で南側の使用目的を分けているので、南側の環境が良いスペースを余すところなく使い切れる

主寝室

プライバシーレベルの高い主寝室は2階奥に配置。朝は南と東の窓から光が差し込む。図は書斎を併設しているタイプだが、書斎が必要なければウォークインクローゼットなど、収納スペースとして活用する

小さな書斎

家に持ち帰った仕事を片づけるときなど、ちょっとした作業はここでできる。書斎が必要ない場合はこのスペースをウォークインクローゼットにしてもよい

読書コーナー or 洗濯物置き場

「第二の書斎」ともいえる読書スペース。あるいは、乾いた洗濯物をクローゼットやタンスにしまう前の置き場として利用可能。この位置なら取り込んだ洗濯物を溜め込んでいてもストレスを感じさせない

